

## 中学生の英文構造習得プロセスに関する事例研究(2)

— Topic-Comment 文の分析を中心に —

高根大学 築道 和明

### 1 はじめに

日本人英語学習者の中間言語の1つの特徴として、"This summer is cool."や"Her telephone is long."に代表されるように日本文のトピックをそのまま英文の主語として表現するtopic-comment structureを挙げることができる。これは、松岡(1994)が指摘するようにtopic-prominenceという特徴を有する日本語の影響によるものと考えられるが、一方で母語に関係なく初級レベルの学習者にみられる共通した中間言語のひとつの特徴であるという指摘もある[例えば、Rutherford(1983), Fuller & Gundel(1987)]。

日本人英語学習者の英語力とtopic-comment文への依存度との関係を調べた研究としてSasaki(1990)がある。この研究では、場所をトピックにした存在文に関して、予備校生を対象に課題英作文を与え、英語学力とtopic-comment文の使用頻度との関係を調べている。その結果、英語学力の低い学習者ほどtopic-comment文の使用率が高く、逆に学習者の英語学力が高くなるにつれて"There is/ There are....."という存在文を使用する比率が上がるということが明らかにされている。

上述したように、これまでの研究でtopic-comment文からsubject-predicate structuresへという英文の統語構造への習熟プロセスが指摘されているが、topic-comment文に依存する初期段階とは、具体的にいつなのか、興味あるところである。すなわち、日本人英語学習者の中間言語の発達過程として、初級レベルではtopic-comment文が多用され、中、上級レベルではsubject-predicate文が使用されるというlinearな道筋を辿るのか、あるいは、学習段階のそれぞれにおいてtopic-commentからsubject-predicateへというプロセスがあり、徐々にsubject-predicateに基づく発話を中心になるというspiralなプロセスなのか、という2つの考え方があり得る。

松岡(1994)や吉見(1983)では大学生が用いたtopic-comment文が報告されており、また、中学生を対象とした英文の語順習得プロセスを分析した筆者の研究(築道1995)においても、subject-predicateという英文の基本構造にある程度習熟したと思われる段階においてもtopic-comment文が散見される現象がみられた。従って、英語学習の初級段階に位置すると思われる日本人中学生は、topic-comment文を多用し、高校、大学と英語学習経験を積み重ねていくにつれてsubject-predicateに基づく正しい英文を産出できるようになると考えるのは適切とは言えない。むしろ、初級、中級、上級といずれの英語学習段階においても学習者は、それぞれの段階でtopic-comment文からsubject-predicate文へという統語構造への習熟プロセスを経ており、それと同時に中学→高校→大学と学習経験を積み重ねるにつれて日本語の影響によるtopic-comment文の産出は減少していく、つまり、より英文の統語構造に基づいた発話を中心になると考えるのが妥当であろう。

本研究では、英語学習の初期段階にいる日本人中学生を対象を限定して、そのtopic-comment文の特徴について分析を試みる。

## 2 本研究の目的

(1) ケーススタディに基づき、ある日本人中学生のtopic-comment文に焦点を当て、topic-comment文の特徴について分析する。

(2) 中学生を対象に、英語力及び英語学習期間とtopic-comment文への依存度との関係を分析する。

## 3 分析データ及び方法

上述の(1)の点を明らかにするために、中学3年生が1993年の4月から1994年1月までに記した英文日記(記録回数128回)を基礎データとし、日記にあらわれたtopic-comment文の特徴を分析する。<sup>1)</sup>

また、第二の点を明らかにするために、appendixに示したテストを鳥根県内の2つの公立中学校2年生(30名)と3年生(106名)を対象に1995年9月上旬に実施した。本論文では、英語力とtopic-comment文との関係を把握するために106名の中学3年生のうち、学校の英語の成績により英語学力上位グループ24名(10段階で8~10の者)と下位グループ30名(10段階で1~4の者)とに分けて、テスト結果を分析する。また、英語学習期間とtopic-comment文との関係を把握するため、中学2年生(30名)と中学3年生(30名)のテスト結果も併せて分析する。<sup>2)</sup>

尚、テスト問題は、ケーススタディで明らかになったtopic-comment文の代表的なパターンを選択肢として採用した。また、テストは、5問から成るが、設問(5)は機械的な反応をしている学習者を分析対象からはずす目的で入れたものであり、今回の考察の対象にはしない。

## 4 結果と考察

### 4.1 ケーススタディによるtopic-comment文の分析

まず、時系列的にtopic-comment文を以下に示す。( )は、日記の日付であり、「?」は、日にちが不明の場合である。

【イタリックがtopic-comment文】

(1) *My family is seven.* (4/16)

(2) We had physical education in the fourth class today. *Today was track and field events.* So I was very tired. *But that after was school lunch.* It was very good. *Today was long a day.* (4/20)

(3) We had rain today. ....*Today was a good day.* (4/22)

(4) OSMONDS is American singer. *The member is four.* They are brothers everything. (5/?)

(5) We had a test today. It was very difficult. Math was the most difficult of all. *English was so, so.* (5/18)

(6) It was fine today. *Summer vacation was from today.* (7/21)

(7) It was fine today. I kept studying from morning. *Because I was very spare time.* (7/?)

(8) It was cool today. So I wear long sleeve shirt. It is winter just like now. *I was water turn today.* But I don't go to there. *Beacuse It was rain today.* (8/?)

(9) *This summer was very cool.* (8/31)

(10) I watched "Eenyobo" on TV three times today. *Morning was twice and afternoon once.* (9/?)

(11) This isn't gum. This is my craser. This is very interesting. *This eraser is good reputation my friends.* (9/22)

- (12) We had show our class in the fifth period. *The fifth period was social studies.* (9/?)
- (13) We had a track meet today. It was cloudy today. My family came to field to cheer me. *I was yellow team.* (10/?)
- (14) I listened to the score of the English qualifying exam. *The listening test was bad marks.* (11/?)
- (15) I was returned tests by our teacher. *Science was very bad.* (11/?)
- (16) I studied math. I will study very hard tomorrow. *An examinee is really hard.*  
(12/28)
- (17) *Today is no to write.* (1/4)

この中学生は、合計19のtopic-comment文を使用しているが、その特徴は以下のようにまとめることができる。

(1) 動詞はbe動詞が中心であり、Ellis (1994)で指摘されているような "Ice cream, I like it." という形のtopic-comment文は出現していない。

(2) トピックとしては、3人称が中心である。1人称を主語に置いたケースが3例みられるが、これらは一般動詞とbe動詞との選択ミスという解釈も成り立つが、一方でtopic-comment文の使用例であるとも考えられる。<sup>3)</sup>

(3) "Today was rain." という誤りに代表される天候に関してtopic-comment文を使用したケースは、1例のみである(9)。この中学生は、以下のような英文を産出しているが、これらを考え合わせると天候を表現する場合には、Itを主語に立てるというルールが定着していると言えよう。

-We had a cloudy sky today. Sometimes it was rain. We had homemaking in the third and fourth hour today. (4/30)

-It was a pouring rain today. (5/2)

-It was fine today. We had three classes today. (5/6)

-It was the skin cold today. We had meeting of all the students of the school. (5/?)

-It was rainy today. It has been raining for three days. We had the coming-of-age ceremony of my first sister today. (8/?)

(4) "Today was a good day."に代表される「時」を表す語句をtopicに置く誤りはいくつか見られる[(2)(3)(17)]。また、(10)(12)にみられるように、談話の流れの中で直前の英文では、subject-predicateに基づく文を使用しながら、後続する英文ではtopic-comment文が使われている。このことは、この学習者がtopic-commentとsubject-predicateとの間で「ゆれ」ていることを意味しているのではないかと思われる。<sup>4)</sup>

-Today is Saturday. So we had three classes. (4/23)

-We had the last day of golden week today. I had a very good time today. (5/5)

-We had physical education in the fifth class. We will have an excursion tomorrow. (9/20)

-We had an excursion today. This excursion will be one of my good memories. (9/21)

-It was very cold today. We will have Konami festival tomorrow. (10/24)

#### 4.2 英語力及び英語学習経験とtopic-comment文との関係

次に、テスト結果について考察を進める。まず、中学3年生106名の解答状況を表1に、また、通常の英語の成績から分けた上位グループ24名と下位グループ30名の解答状況を表2にそれぞれ示す。

	(a)	(b)	(c)	(d)
問1	5*	71	26○	4
問2	22	8	41*	35○
問3	38*	23	35○	10
問4	34*	31○	24	17*

表1 Topic-comment文に対する反応(中学3年生)

注(1) 数字は人数を示す

注(2) \*は、topic-comment文を表す

注(3) ○は、正解を表す

	(a)	(b)	(c)	(d)
問1 (上位)	0*	13	10○	1
(下位)	3	14	11	2
問2 (上位)	5	0	6*	13○
(下位)	6	4	12	8
問3 (上位)	3*	5	15○	1
(下位)	15	7	3	5
問4 (上位)	3*	13○	8	0*
(下位)	11	3	11	5

表2 Topic-comment文に対する反応(上位群vs. 下位群)

表2の解答分布をカイ2乗検定で分析したところ、問3と問4に関して有意な差が見られた(問3:  $\chi^2=15.02$   $p<.01$   $df=3$  / 問4:  $\chi^2=11.89$   $p<.01$   $df=3$ )。

次に、中学2年生30名と中学3年生30名(同一中学校)の解答状況を表3に示す。

	(a)	(b)	(c)	(d)
問1 (中2)	5*	15	10○	0
(中3)	3	16	11	0
問2 (中2)	4	3	11*	12○
(中3)	5	1	10	14
問3 (中2)	20*	5	3○	2
(中3)	6	10	13	1
問4 (中2)	8*	7○	8	7*
(中3)	3	11	12	4

表3 Topic-comment文に対する反応(中学2年生 vs. 中学3年生)

学年間の比較では、問3のみ有意差が見られた( $\chi^2=12.62$   $p<.01$   $df=3$ )。

## 5 結論

(1) 英語学習の初期段階に位置する中学生の場合、日本語の影響からtopic-comment文に依存する英文が見られる。ただ、その場合、すべての発話がtopic-comment文に基づくものになるとは限らない。例えば、「天候」を表す際にitを主語に立てるというルールは、早い段階で定着し、“Yesterday was rain.”などの英文は生じていない(ケーススタディ及びテストの結果)。天候に限って言えば、topic-comment文よりも“It was rain yesterday.”とする品詞の識別に関する誤りが顕著であった(テスト結果)。

(2) 英語力とtopic-comment文への依存度との関係、及び英語学習期間との関係では、「○は、(数字)です」という問題文の解答において上位群と下位群、また中学2年と中学3年との間の反応に差がみられた。これは、予備校生を対象にしたSasaki(1990)の調査結果と一致する。

また、上位群と下位群との間では、「今日は私の誕生日です。それで今夜はパーティです」という問題においても差が見られた。この問題文の場合、前半部分は“Today is my birthday.”となり、日本語をそのまま英訳することが可能である。従って、topic-comment構造に依存している学習者は、前半部分から判断して後続の日本語もtopic-comment文を選択したと推測される。

(3) 英語学習の初期段階にいる日本人中学生は、日本語の影響を受けて日本語のトピックを英文の主語とするtopic-comment文を用いるが、その場合、特にtopic-comment文として表出されやすいメッセージがあると予想される(例えば、「私の家族は6人です」「今日はパーティです」)。英語力のある学習者は、日本語の干渉を受けやすい、こうしたメッセージを伝達する場合でも英文のsubject-predicateの構造に基づいた発話を用いようとする。すなわち、初級段階にいる中学生においてもtopic-commentからsubject-predicateへという英文の統語構造への習熟プロセスが進行しているということである。<sup>5)</sup>

### 註

1) 今回も日記によるデータは、鳥根県鳥根町立野波中学校の田尻悟郎先生に提供していただいた。また、テストは、田尻先生と鳥根県三隅町立三隅中学校の川神正輝先生に実施していただいた。ここに記して感謝申し上げます。

2) この中学生は、中学2年まで教科書を1ページずつ日本語に置き換えて理解するという授業を受けてきている。従って、英文日記もまずは頭に日本語を思い浮かべて、その後英語に置き換えるという作業を経て書いていると想像される。尚、通常の英語の成績は上位に位置する生徒である。

3) この点に関連して、10月には次のような興味深い英文が日記にあらわれている。  
-We had cooking exercise in the second and the third period. Our group made pudding and fruits salad. We drank orange juice. They were good, both pudding and salad.

4) 以下は、この中学生が5月6日の日記で教師に対して投げかけた質問である。topic-comment文とsubject-predicate構造との間で「ゆれ」ている学習者の心理を象徴している発言だと思われる。

「「今日~だった」という場合、Todayというのは前にもってきてはいけませんか。

例： Today was three classes. (5/6)】

5)以下の英文は、中学入学以後、語順の指導を重点的に受けた学習者(中2年生と中学3年生)のものである。この二人の学習者は、日本語を介さずに英文を書いていると判断されるが、それでもtopic-comment文を使っている。今後は、こうした学習者の中間言語データをさらに多く蓄積していく必要がある。

-I have to study hard because we have test in six days time. But I didn't study at all today. I am afraid that I understand English, math and Japanese and so on. I want to change my brain for Suguru's brain. Today was lowermost. (11/7/94: 中2)

-It's been raining on and off since this morning. I don't like the weather like today. I think it will be fine tomorrow. Because we will have a moral education tomorrow. I didn't watch TV at all today. So I could study and reading books a lot. Of course, I didn't play TV games. "Time is money" I think I have to spend my time effectively. Now is only once. "Don't waste my time on trifles." By the way, why were you absent last Saturday? Possibly.....? (5/21/95: 中3)

#### 参考文献

- Ellis, R. *The Study of Second Language Acquisition*. Oxford Univ. Press. 1994.
- Fuller, J.W. & J.K. Gundel, "Topic-Prominence in Interlanguage," *LL*, 37, 1, 1987, pp.1-18.
- James, C., "Don't Shoot my Dodo: On the Resilience of Contrastive and Error Analysis," *IRAL*, 32, 3, 1994, 179-200.
- Lennon, P., "Error: Some Problems of Definition, Identification, and Distinction," *Applied Linguistics*, 12, 2, 1991, pp.180-196.
- Li, C.N. & S.A. Thompson, "Subject and topic: a new typology of language," in Li, C.N. (ed.) *Subject and Topic*. N.Y. Academic Press, 1976, pp.457-489.
- 松岡博信 「日本人英語学習者の自由英作文に見られるThematicity Constraintについて— Topic-Prominenceによる干渉に焦点をあてて—」『中国地区英語教育学会研究紀要』 No.23, 1993, pp.125-132
- Niimura, T., "There IS a Topic-Marker in the English of a Native Japanese Speaker: Discourse Analysis of English Interlanguage," in Shimaoka, T. & Y. Yano (eds.) *Studies in Applied Linguistics*. Occasional Papers Number 1, Liber Press, 1990, pp.39-45.
- Rutherford, W.E., "Description and Explanation in Interlanguage Syntax: State of the Art," *LL*, 34, 3, 1984, pp.127-155.
- "Language Typology and Language Transfer," in Gass, S. & L. Selinker (eds.) *Language Transfer in Language Learning*. Newbury House Publishers, Inc. 1983, pp.358-370.
- Sasaki, M., "Topic Prominence in Japanese EFL Students' Existential Constructions," *LL*, 40, 3, 1990, pp.337-368.
- 築道和明「中学生の英文構造習得プロセスに関する事例研究——英文日記にあらわれた誤りの分析を中心に——」『中国地区英語教育学会研究紀要』 No.25, 1995, pp.149-155
- 吉見富美子「自由英作文の指導 誤りの原因・理由をさぐる 1」『英語教育』9月号, 1987, pp.83-85.

Appendix テスト問題

( ) 番 名前 ( )

次の日本語の意味を正しく表している英文を(a)~(d)の中から一つだけ選んで、その記号を○で囲みなさい。

(1) きのうは、雨でした。

- (a) Yesterday was rain.
- (b) It was rain yesterday.
- (c) It rained yesterday.
- (d) Yesterday rained.

(2) きょうは、いい一日でした。

- (a) Today had a good day.
- (b) I was a good time today.
- (c) Today was a good day.
- (d) I had a good time today.

(3) 私の家族は4人です。

- (a) My family is four people.
- (b) My family has four people.
- (c) There are four people in my family.
- (d) My family, there are four people.

(4) きょうは私の誕生日です。それで今夜はパーティーです。

- (a) Today is my birthday, so tonight is a party.
- (b) Today is my birthday, so we have a party tonight.
- (c) My birthday is today, so we have a party tonight.
- (d) My birthday is today, so tonight is a party.

(5) テニスを放課後します。

- (a) After school play tennis.
- (b) After school I play tennis.
- (c) I play tennis after school.
- (d) Tennis I play after school.